

Content Delivery Network

権限管理

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2019 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

権限管理

権限設定

コンソールの権限に関する説明

サブアカウントまたはコラボレーターでリアルタイムログをアクティブ化する方法

権限管理

権限設定

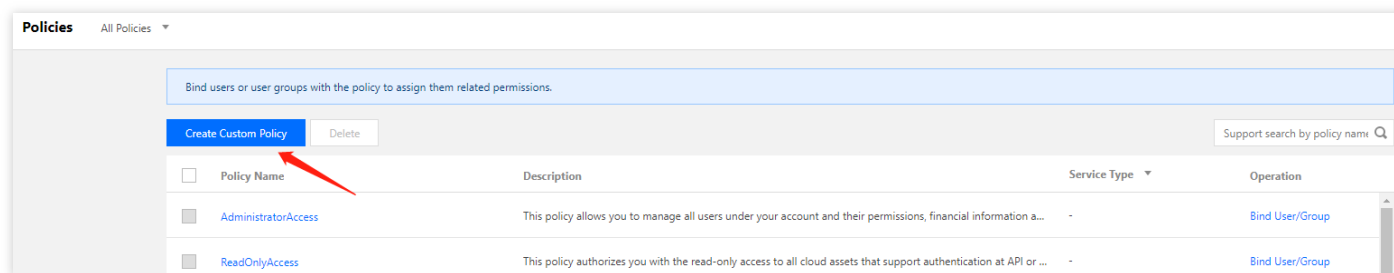
最終更新日：：2021-08-02 17:37:32

ユーザーがより細かい粒度でドメイン名を設定し、問い合わせや権限の管理がし易くなるように、CDNの権限ポリシーを全面的にアップグレードしました。カスタムポリシーステートメントにより、ドメイン名レベルでの権限の割り当てを実現できます。

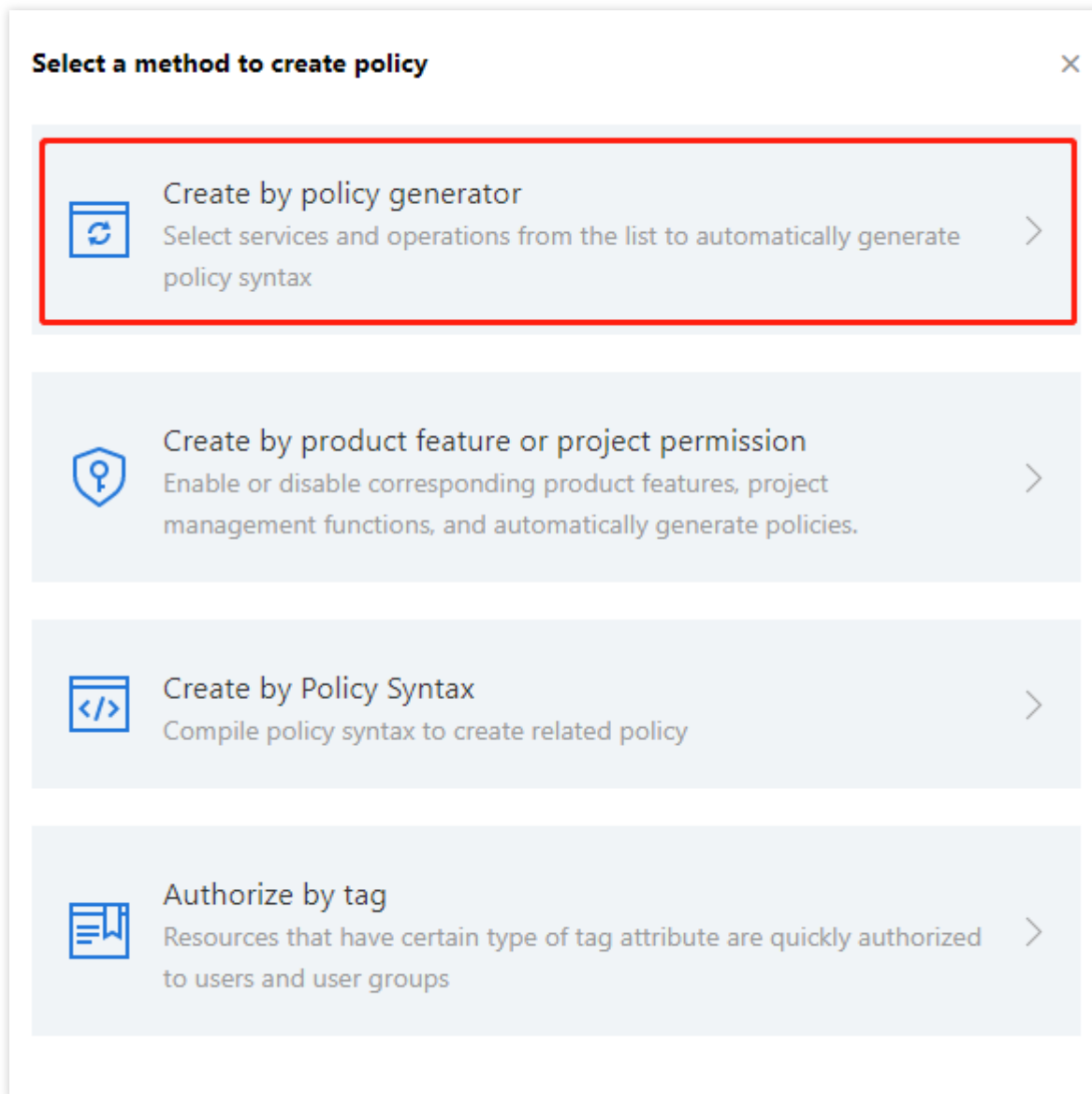
説明：

CDN2.0インターフェースは今後更新、メンテナンスが行われません。【製品機能またはプロジェクトによる権限の作成】を使用したポリシーの新規作成は推奨しません。機能がより万全で、操作がより簡単な【ポリシージェネレーターで作成】または【タグによる権限付与】の使用をお勧めします。

1. CAMコンソールにログインし、【ポリシー】メニューをクリックすると、ポリシー管理ページに入りますので、【カスタムポリシーの新規作成】をクリックします。



2. 【ポリシージェネレーターで作成】を選択します。



3. 製品の選択枠から【Content Delivery Network】を選択し、権限付与が必要な機能グループを選択します。すべての読み取り/書き込み権限を付与する場合は、【すべての操作】にチェックを入れます。機能とコンソールの

マッピング関係については、[Actionマッピングテーブル](#)をご参照ください。

Select service and operation > 2 Edit Policy

Effect * Allow Reject

Service * CDN

Action * **Action (38 in total)**

Search Action name/description (multiple keywords separated by sp):

Action Name	Description
<input checked="" type="checkbox"/> All	All Services
<input type="checkbox"/> AddCdnDomain	AddCdnDomain
<input type="checkbox"/> CreateScdnDomain	CreateScdnDomain
<input type="checkbox"/> CreateScdnFailedLogTask	CreateScdnFailedLogTask
<input type="checkbox"/> CreateScdnLogTask	CreateScdnLogTask
<input type="checkbox"/> DeleteCdnDomain	DeleteCdnDomain

(0) selected

Action Name	Description
-------------	-------------

Resource * [Note](#)

Condition

[Add Statement](#)

4. リソースのところに権限付与が必要なドメイン名を入力します。入力完了後、【OK】をクリックし、【次のステップ】をクリックすれば、ポリシーが作成できます。作成したポリシーを既存のユーザー/ユーザーグループと関連付けすれば、権限が付与されます。

- 全ドメイン名：リソースのところで【全リソース】にチェックを入れて、【OK】をクリックします。
- 単一/複数ドメイン名：【特定のリソース】にチェックを入れて、【リソース追加6段式】をクリックします。

右側にポップアップしたウィンドウ【リソース】に、対応する単一ドメイン名を入力した後、【OK】をクリックします。複数のドメイン名を追加したい場合は、【リソース追加6段式】をクリックして複数回の追加が可能です。

5. 上記の操作が完了したら、【次のステップ】をクリックし、権限付与が必要なサブアカウントユーザーを選択して、【完了】をクリックすればOKです。

コンソールの権限に関する説明

最終更新日：2021-08-06 12:09:21

ActionとResourceを指定してカスタムポリシーを作成した後、APIインターフェースを直接呼び出し、関連リソースに対する操作を実行できます。コンソールの機能ポイントとActionマッピングとの関係については、次の説明をご参照ください。

注意：

- Tencent Cloud CDNの権限付与リソース次元はドメイン名であり、中国本土または中国本土以外での同一のドメイン名の個別の権限割り当てをサポートしていません。
- ECDN業務をCDNコンソールに移行すると、ECDN側のインターフェース権限ポリシーを、対応する機能のCDNインターフェース権限に自動的にマップできます。ECDN側でリソースレベルの権限ポリシーをすでに設定している場合は、業務を移行した後、CDN側で設定し直す必要があります。

サービスの概要

サービスの概要は、表示内容に応じて4つのコンポーネントに分かれています。

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
サービス使用量表示	DescribeCdnData DescribeBillingData	一部のドメイン名のみ権限を付与する場合、各ドメイン名の使用状況を個別にクエリーします
ドメイン名状況	DescribeDomains	権限が付与されたドメイン名の合計数を返します
課金状況	DescribePayType	現在、権限が付与されたサブアカウントは課金方式を変更できません
トラフィックパッケージ状況	DescribeTrafficPackages	トラフィックパッケージはアカウントレベルのデータであり、関連しているすべてのリソースをクエリー可能です

ドメイン名管理

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
-----------	------------	------

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
ドメイン名リストおよびそのクエリー	DescribeDomains	クエリー / 表示 / ドメイン名の基本設定をダウンロード すべてに対して詳細な権限付与を行う場合、 DescribeDomainsConfigに権限を付与する必要があります
ドメイン名の追加	DescribeDomains	任意の加速サービスリージョンのドメイン名を追加できます
ドメイン名の停止	StopCdnDomain	-
ドメイン名の有効化	StartCdnDomain	-
ドメイン名の削除	DeleteCdnDomain	-
ドメイン名所属プロジェクトの変更	UpdateDomainConfig	ドメイン名所属プロジェクトはドメイン名設定の一部となります 権限付与した後、ドメイン名のすべての設定を変更できます
ドメイン名設定の管理	UpdateDomainConfig DescribeDomainsConfig	権限を付与した後、ドメイン名のすべての設定を確認・変更できます

証明書管理

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
証明書リストをクエリー	DescribeDomainsConfig	権限を付与した後にドメイン名のすべての設定を確認できます
証明書を設定	UpdateDomainConfig	権限を付与した後にドメイン名のすべての設定を変更できます
証明書を一括設定	UpdateDomainsHttps	証明書の一括設定に使用されます

統計分析

機能モジュール	権限付与Action	注意事項
---------	------------	------

機能モジュール	権限付与Action	注意事項
アクセスデータ詳細のクエリー	DescribeCdnData	権限を付与した後、ドメイン名のすべてのアクセスデータインデックスをクエリーできます
back to originデータ詳細のクエリー	DescribeOriginData	権限を付与した後、ドメイン名のすべてのback to originデータインデックスをクエリーできます
トラフィック量/リクエスト数Topのクエリー ドメイン名Topランキングのクエリー ドメイン名状態コードランキングのクエリー 中国国内各省の使用量ランキングのクエリー 中国国内キャリア使用量のランキング 中国国外地域使用量ランキング	ListTopData	権限を付与した後、各種データ/次元ランキングをクエリーできます
独立IPアドレス数のクエリー	DescribeIpVisit	-

更新予熱

機能コンポーネント	権限付与Action
URL 更新サブミット	PurgeUrlsCache
ディレクトリ更新サブミット	PurgePathCache
クエリー更新履歴	DescribePurgeTasks
ホットスタンバイタスクサブミット	PushUrlsCache
ホットスタンバイ履歴のクエリー	DescribePushTasks

Cloud Log Service

機能コンポーネント	権限付与Action
-----------	------------

機能コンポーネント	権限付与Action
クエリーログダウンロードリンク	DescribeCdnDomainLogs

ネットワーク全体状態の監視

コンソールのネットワーク全体の状態監視画面では、すべてのサブアカウントを照会可能です、権限を付与する必要がありません。

運用レポート

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
アクセスデータ詳細のクエリー	DescribeCdnData	権限を付与した後、ドメイン名のすべてのアクセスデータインデックスをクエリーできます
back to originデータ詳細のクエリー	DescribeOriginData	権限を付与した後、ドメイン名のすべてのback to originデータインデックスをクエリーできます
トラフィック量/リクエスト数Topのクエリー ドメイン名Topランキングのクエリー ドメイン名状態コードランキングのクエリー 中国国内各省の使用量ランキングのクエリー 中国国内キャリア使用量のランキング 中国国外地域使用量ランキング	ListTopData	権限を付与した後、各種データ/次元ランキングをクエリーできます
独立IPアドレス数の照会	DescribeIpVisit	-

トラフィックパッケージの管理

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
-----------	------------	------

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
トラフィックパッケージリストの照会	DescribeTrafficPackages	インターフェースが返すコンテンツはResourceとの関係はなく、権限を付与された任意のリソースを照会できます

注意：

トラフィックパッケージの更新 / 更新ロジックの停止。現時点では、権限付与の実施はサポートされていません。

IP所有権の照会

機能コンポーネント	権限付与Action	注意事項
IPがTencent Cloud CDNに所属するかのクエリー	DescribeCdnIp	インターフェースによって返される内容は、Resourceと関係がなく、すべてのリソースがクエリー可能となります

自己診断ツール

セルフ診断ツールは、現在サブアカウントの権限付与をサポートしていません。

サブアカウントまたはコラボレーターでリアルタイムログをアクティブ化する方法

最終更新日：：2022-01-27 14:34:05

サブアカウント/コラボレーターがリアルタイムログのアクティブ化操作を行う際は、ルートアカウントまたは管理権限を有するサブアカウント/コラボレーターからアクティブ化操作を実行するサブアカウント/コラボレーターに対し、次の2つの権限を承認してから、リアルタイムログのアクティブ化操作を実行する必要があります。

1. プリセットポリシー QcloudCamSubaccountsAuthorizeRoleFullAccess。
2. カスタムポリシー cdn_PassRole。

操作手順

1. プリセットポリシー QcloudCamSubaccountsAuthorizeRoleFullAccessをサブアカウント/コラボレーターにバインドします。

ルートアカウントまたは管理権限を有するサブアカウント/コラボレーターが、左側ディレクトリで**ポリシー**を選択します。**ポリシー**ページに進み、QcloudCamSubaccountsAuthorizeRoleFullAccessを検索してこのポリシーを見つけ、右側操作列の**ユーザー/グループのバインド**をクリックし、ポップアップウィンドウからバインドしたいサブアカウント/コラボレーターを選択して、バインド操作を完了します。

2. カスタムポリシーcdn_PassRoleを作成し、サブアカウント/コラボレーターにバインドします。

- i. ルートアカウントまたは管理権限を有するサブアカウント/コラボレーターでCAMコンソールに入り、左側ディレクトリの**ポリシー**を選択します。その後、**カスタムポリシーの新規作成**を選択し、ポップアップしたダイアログボックスで、**ポリシー構文で作成**を選択します

- ii. **ポリシー構文で作成**ページで、**空白テンプレート**を選択し、**次のステップ**をクリックします。**ポリシーの編集**ページで、次の例を参照してポリシーの名称と内容を入力した後、**完了**をクリックするとこのポリシーが作成されます。

ポリシー構文は次のとおりです。

```
{
  "version": "2.0",
  "statement": [
    {
      "effect": "allow",
```

```
"action": [  
  "cam:PassRole"  
],  
"resource": [  
  "qcs::cam::uin/${OwnerUin}:roleName/CDN_QCSRole"  
]  
}  
]  
}
```

このうち、`${OwnerUin}` はルートアカウントIDに切り替えると、コンソールのアカウント情報ページから入手できます。

iii. `cdn_PassRole`ポリシーをサブアカウントまたはコラボレーターにバインドします。

左側ディレクトリで**ポリシー**を選択し、**ポリシー**ページに入ると、先ほど作成した`cdn_PassRole`ポリシーを確認できます。または名称からこのポリシーを検索し、右側操作列の**ユーザー/グループの関連付け**をクリックし、ポップアップウィンドウから関連付けたいサブアカウント/コラボレーターを選択して、バインド操作を完了します。

3. 上記の2つの権限のバインド操作を完了すると、権限を承認されたサブアカウント/コラボレーターは、コンソールの表示に従ってリアルタイムログサービスのアクティブ化操作ができるようになります。